

■キャリア形成訪問指導事業(巡回・訪問指導研修) 研修プログラム一覧

(団体名)公益社団法人 岡山県社会福祉士会

番号	研修名	研修内容	対象者	研修時間
1	社会福祉の歴史と考え方	社会福祉の考え方と理念について、社会福祉の歴史における権利の考え方をとおして学ぶ	福祉・介護現任職員	90分
2	ソーシャルワークの基礎	ソーシャルワークの定義について、価値と倫理をめぐる課題をとおして学ぶ		
3	ソーシャルワークの実践	ソーシャルワークの展開過程について、ソーシャルワーク実践のアプローチやモデルをとおして学ぶ		
4	ソーシャルワークの技法	ソーシャルワークの技法(コミュニケーション・面接・記録・アウトリーチ・コーディネーション・社会資源の活用)について学ぶ		
5	アセスメントの基礎	・「問題」と「課題」の整理 ・「インテイク」と「アセスメント」の違い ・「デマンド」と「ニーズ」・「アセスメント」とは ・ケース検討会議の基礎		90～240分
6	“使える”面接技術～理論と演習～	【講義と演習】相談援助における面接の過程と進め方を学び、演習を通じて効果的な面接を実現する技術を習得する		
7	適切なコミュニケーションを実践する～相手と場面に応じたコミュニケーション～	【講義と演習】対人援助職としてのコミュニケーション能力を習得する。 1業務関係者との連携場面 2利用者や家族との接し方 3コミュニケーションとしての記録・報告		
8	“家族”を理解する	【講義と演習】対人援助職は、利用者と家族を一つのシステムとして捉える視点が求められる。「～な家族」と感じる家族の背景を考え、家族の一員としての利用者を理解する。		
9	楽しい・役立つカンファレンス～目的に応じた進め方～	【講義と演習】事例検討会、ケアプランカンファレンスなど対人援助の場で実践される事例検討会の進め方を習得する。目的に応じた進め方を意識し、参加者にとって役立つ。参加が楽しくなるカンファレンスのありかたを習得する	福祉・介護現任職員	90～240分
10	スーパービジョンとは	スーパービジョンの考え方や職場での活用について演習を通じて学びます。	福祉・介護現任職員	90～240分
11	社会福祉士になりませんか?	社会福祉士資格の取得方法から、取得後の研修体制、認定社会福祉士への道筋までを解説します。	福祉・介護現任職員	90～240分
12	『はじめて学ぶ成年後見』	◎成年後見制度の概要、◎どんな場合に役立つか、◎制度を利用するメリット・デメリット、などをわかりやすく説明します	福祉・介護現任職員	90分
13	『成年後見制度へのつなぎ方』	◎だれと連携して申立をすすめていくか、◎申立の支援方法、◎岡山における後見受任の受け皿の状況、について事例と実際の書式を用いてご説明します		90～120分
14	『成年後見人の業務の実際』	◎後見人の業務はどのように行われているのか、◎後見人の出来ることと出来ないこと、◎医療・福祉関係職と後見人の連携のしかたについて、ご説明します		
15	社会福祉士実習指導の進め方(基礎編)～実習の概要～	社会福祉士と相談援助実習、実習マネジメント、プログラミング、スーパービジョンなど、社会福祉士実習指導の概要を学びます。	福祉・介護現任職員	90～120分
16	社会福祉士実習指導の進め方(基礎編)～実習受入準備～	施設・機関内外における実習受入環境の調整や具体的な手順、リスクマネジメントなど、実習マネジメントについて学びます。		
17	社会福祉士実習指導の進め方(応用編)～実習プログラムの展開～	実習生に応じた個別実習プログラムとその展開について、日々の業務からソーシャルワークをいかに伝えるのかを含めて学びます。 ※実習に限らず、日々の業務におけるソーシャルワークに関する内容での対応することも可能です。		
18	社会福祉士実習指導の進め方(応用編)～実習スーパービジョンの展開～	効果的な実習スーパービジョンのあり方について、事例を交えながら具体的に学びます。 ※実習に限らず、職場におけるスーパービジョンに関する内容で対応することも可能です。		
19	記録を用いた実習指導の進め方	記録の目的と機能など記録の基本について学んだうえで、記録の書き方について学びます。実習記録を始め、現場で使われている記録様式を用いた実習指導の進め方について演習を交えて学びます。		
20	実習指導者とソーシャルワーク～ソーシャルワーカーとしてのスキルを磨く～	社会福祉士が修得すべきスキルである面接技法について、基本的知識を学ぶと共に、どのように伝えるかを演習を交えて学びます。	福祉・介護現任職員	60～90分
21	高齢者虐待における基礎知識と権利擁護	今さら聞けない高齢者虐待の基礎知識とそれに深く結びつく権利擁護についてお伝えします。		
22	地域包括支援センターにおける高齢者虐待対応の基本	地域包括支援センターが実際に行う高齢者虐待対応の流れやポイントを解説します。	福祉・介護現任職員	応相談
23	発達障害の特性と具体的な関わり方	発達障害の基礎知識を学ぶと共に、どのように関わっていけばよいのか具体的な方法を学びます。	福祉・介護現任職員、医療従事者	120分
24	児童虐待(施設内)を防止する風通しの良い職場とは	施設内で起こる職員による児童虐待を防ぐために必要な風通しの良い職場について学びます。	福祉・介護現任職員、医療従事者	120分
25	子どもの自立支援に必要な基礎知識～人生の節目で使う福祉制度	現在、児童福祉施設の職員には児童が退所してからの方針やケアも求められています。退所した児童が経済的に困窮しないために必要な社会保障制度について、スタッフ自身が知識を深め、適切なリーディングケア(退所前支援)やアフターケアが出来る事を目標とします。	福祉・介護現任職員、医療従事者	180分
26	子どもの遊びと発育の関連性	子どもの遊びは人格形成に影響を及ぼします。遊びがもたらす具体的な発育の影響と効果について学びます。	福祉・介護現任職員、医療従事者	90分
27	思春期の子どもの特性	思春期の子どもと基礎的知識について学びます。	福祉・介護現任職員、医療従事者	90分
28	実地指導を見据えた法令遵守について	介護保険等における指定基準にもとづく業務について	福祉・介護職員及び管理者	2時間
29	福祉・介護現場における外国人雇用と課題	福祉・介護現場における外国人雇用と諸問題について	福祉・介護職員及び管理者	2時間
30	福祉関係者の災害への備えと取り組み	災害時におけるソーシャルワークの留意点などについて学ぶ	介護・福祉現任職員	90分
31	障害理解と障害者福祉の制度	・障害福祉サービスの体系と具体的な利用 ・障害特性と理解(就労編・生活編)	介護・福祉現任職員	90分～120分

■キャリア形成訪問指導事業(巡回・訪問指導研修) 研修プログラム一覧

(団体名)公益社団法人 岡山県社会福祉士会

32	障害者の地域生活と権利擁護	・地域生活の定着のための各社会資源の活用 ・地域生活を支える権利擁護の枠組(成年後見制度、障害者虐待防止、差別解消等)。	介護・福祉現任職員	90分～120分
33	障害者のケアマネジメント	・本人と向き合うための相談支援 いろはの「い」 ・本人を支えるネットワークづくり～「顔の共有」「時間の共有」「支援の共有」～	介護・福祉現任職員	90分～120分
34	障害者差別解消法での合理的配慮	合理的配慮の考え方について、具体的な事例を通して解説。	介護・福祉現任職員	90分～120分
35	施設における障害者虐待防止	・障害者虐待防止の基礎知識から対応まで具体的な取り組みについて	介護・福祉現任職員	90分～120分
36	施設利用者等が罪に問われた時の支援	在宅や施設を問わず担当している高齢者や障害者の方が刑事事件を起こしたときなど、罪に問われた時の司法と福祉の連携による支援について具体的な支援策と一緒に学びます。	福祉的支援を必要とする高齢者・障害者などが、被疑者・被告人になった刑事事件において福祉的支援を行っている福祉専門職	120分
37	弁護士とソーシャルワーカーの協働の可能性～後見・民事・刑事事件～	成年後見、民事事件、刑事事件など、様々な福祉サービス利用者に法的な支援が必要な場面で、介護・福祉専門職が弁護士等と連携した支援策を学びます。	福祉的支援を必要とする高齢者・障害者などが、被疑者・被告人になった刑事事件において福祉的支援を行っている福祉専門職	120分
38	施設内で起きた問題点の法的解決方法	施設内で起きた問題を法テラスを利用するなど具体的に解説します。	福祉的支援を必要とする高齢者・障害者などが、被疑者・被告人になった刑事事件において福祉的支援を行っている福祉専門職	120分
39	福祉サービス第三者評価を受けましょう	『福祉サービス第三者評価』や『社会的養護関係施設第三者評価』について、どのような事業なのか、受審する意義。評価を受けることでどのように職場は変わるのか、などなど、受審のメリットなどをお伝えします。	介護・福祉現任職員	60分
40	コミュニティワークとは？	行政や地域住民を巻き込んだ、コミュニティワーク推進のために、地域に立地する事業所(施設)の果たす役割について学びます。	介護・福祉現任職員	90～120分
41	利用者の人生を聞く、書く。～聞き書きによる自分史・人生録の作り方～	利用者さんが歩んでこられた「人生・経験」を聴き、書き記す。そんな取り組みが始まっています。回想や利用者理解の一助に、傾聴ボラの発展型として、利用者や家族へのプレゼントにも。そのノウハウを伝えます。【演習】 ※レコーダー要(スマホ可)	福祉・介護現任職員	120～240分
42	福祉は人なり①～人財育成、職場研修の基本～	人材育成の主体は事業者であり、その主舞台は職場です。人を「財」とするために必要な職場研修の基本を理解します【講義】	福祉・介護現任職員	90～120分
43	福祉は人なり②～研修体系・計画の構築方法～	事業者には体系的、計画的な人財育成が求められています。その基本となる職場研修体系と、それに基づいた研修計画の作成方法を理解します【演習】	福祉・介護現任職員(育成・研修担当者など)	180～240分
44	福祉は人なり③～職場内研修の企画と運営～	人財育成の中核をなす職場内研修の内、職場内off-JT研修の企画と準備、当日の運営と評価方法を理解します【演習】		120～180分
45	福祉は人なり④～OJT、チューター・プリセプター制度～	職場内研修の基本であるOJTの方法や、近年、若手育成の切り札として注目されているチューター、プリセプター制度のイロハを理解します。【演習】		90～120分
46	苦情をバネにサービス向上～苦情・クレームからカイゼンへ～	願わくば苦情やクレームは避けたいところ。もっともとらえ方次第でそれは利用者やその家族からのエールであり、隠されたニーズの現れかもしれません。事例をもとに検証してみましょう。【演習】	福祉・介護現任職員	90～120分
47	虐待はなぜ施設で起きるのか	施設職員による虐待の発生メカニズムと防止策について解説します。	高齢者関係事業所・障害者関係事業所職員	60～90分
48	虐待はなぜ家庭で起きるのか	家庭における虐待の発生メカニズムと防止策について解説します。	高齢者・障害者の居宅サービス事業所職員	60～90分
49	身体拘束廃止に向けて何ができるのか？	3要件を満たさない身体拘束をしないために施設職員として何ができるのかについて学びます。	介護施設・事業所職員	60～90分
50	社会福祉援助職のためのアンガーマネジメント	援助者の感情コントロールの具体的な方法について学びます。	利用者支援に関わる者	60～90分
51	社会福祉援助職のためのリスクマネジメント・クレーム対応	援助者のためのリスクマネジメントの実際や効果的なクレーム対応について学びます。	利用者支援に関わる者	60～90分
52	部下のやる気を引き出すチームリーダーの役割	リーダーシップとは何か、部下のやる気を引き出すためのコツ等について学びます。	中堅職員・チームリーダー	60～240分
53	社会福祉援助職のための個人情報保護法	援助者が知っておくべき個人情報保護の知識について学びます	利用者支援に関わる者	60～90分
54	地域共生社会時代に求められる施設相談員の役割	地域共生社会の到来を見据えた施設相談員の発想転換の必要性について考えます	施設相談員	60～90分
55	改めて立ち返ろう、社会福祉士の倫理綱領	日頃の業務に追われ忘れがちな社会福祉士の倫理綱領について改めて立ち返ります。	社会福祉士・相談援助職	60～90分
56	福祉施設・事業所内での円滑な連携・コミュニケーションスキル	援助者のための円滑な連携方法やコミュニケーションスキルについて学びます。	利用者支援に関わる者	60～90分
57	意思決定支援の基礎	成年後見人・介護支援専門員・相談支援専門員など、福祉専門職が知っておくべき意思決定支援の基本的な知識・考え方を事例やワークを通じて学びます。	福祉・介護事業所等(県南限定)	2時間以上
58	施設内での高齢者虐待の早期発見と対応	施設内での高齢者虐待を防ぐための基礎知識と考え方を、事例・ワークを通じて学びます。	福祉・介護事業所等(県南限定)	2時間以上(3時間推奨)
59	わかりやすい司法福祉	成年後見・刑事事件・刑余者支援など司法領域の福祉実践についてわかりやすくかみ砕き、事例を通じて学びます。(内容は応相談)	福祉・介護事業所等(県南限定)	1.5時間以上
60	苦情のこない苦情対応～コミュニケーションの基礎から～	苦情への対応を間違えると、2次の苦情を呼ぶことになります。苦情のこない、苦情対応の視点と方法を学びます。	福祉・介護事業所等(県南限定)	2時間以上
61	介護事故に備える～そのとき、どう対応する？	転倒・誤嚥などの介護事故を完全に予防することは困難です。介護事故が起きた場合に、どのように対応するのかを知っておく事は非常に重要です。事例を用いて対応方法を学びます。	福祉・介護事業所等(県南限定)	2時間以上

■キャリア形成訪問指導事業(巡回・訪問指導研修) 研修プログラム一覧

(団体名)公益社団法人 岡山県社会福祉士会

62	解決思考でいこう～ソリューションフォーカスアプローチ実践	私たちは原因思考で考えるクセがありますが、解決に焦点を当てることで利用者の課題や職場の課題をクリアすることができるようになります。事例を用いて、一緒に考えましょう。	福祉・介護事業所等(県南限定)	2時間以上
63	職場が輝くためのコーチング～アドラー心理学を活用した人材育成	職場でどのようなコミュニケーションをはかるかが、人材定着や人材育成にとって非常に重要です。コーチング的なコミュニケーションを学んで、職員が生き活きと働ける職場を目指しましょう。	福祉・介護事業所等(県南限定)	3時間以上
64	仕事力をUPさせるコミュニケーション～アセスメント力を高めるコミュニケーションとは～	「情報を正確に伝えよう」、「信頼関係を築く」といった点に着目し、現場におけるアセスメント力を高める意義を学びます。	医療・福祉の仕事をしている人	3時間
65	対人援助に活かすコミュニケーションスキル	医療・福祉現場において利用者・職員同士のコミュニケーションは欠かせない要素です。ここではNLPやカウンセリングの観点を取り入れたコミュニケーションを学び、伝える力・理解する力を学びます。	医療・福祉の仕事をしている人	3時間
66	医療・福祉職におけるモチベーションの維持	福祉業界で働く人を対象に自分自身でメンタルケアを行い、バーンアウトを回避し、モチベーションを持続させる取り組みについて学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	3時間
67	職場内のハラスメント～風通しのよい職場を作るために～	ハラスメント等、職場内の不祥事を防ぐために必要な、風通しのよい職場作りの方法を学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	2時間
68	思春期の子どもの特性	思春期の子どもの特性と基礎的知識について学びます。	医療・福祉機関で児童福祉の仕事をしている方	90分
69	介護職員基礎入門～介護と介助の違いから介護保険の基礎知識～	介護の基礎知識を学ぶ機会がなかったスタッフを対象の研修です。介護と介助の違いから、介護保険の基礎知識まで、仕事をする上で最低限知っておくべき知識を修得します。	無資格の介護スタッフ、福祉系の学校を出ていない介護スタッフ	2時間30分
70	医療・福祉現場に必要なカウンセリングマインド	利用者や家族のニーズや気持ちを導き出す、カウンセリングマインドを備えた関わり方を学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	90分
71	医療・福祉職における新人職員への接し方	医療・福祉現場に就職した新人職員がモチベーションを下げることなく、意欲を持ち続けて働くために、先輩職員はどのように接したらいいのかを学びます。	医療・福祉の仕事をしており、入社後3年以上経っている方	90分
72	福祉現場における保護者・家族のクレーム対応	利用者の支援をする上で生じる、保護者や家族からのクレームが何故起こるのか。心理的な背景と適切な対応方法を学びます。	福祉現場で働いている方	2時間
73	医療・福祉現場で求められる連携の必要性～基礎編～	医療・福祉業務において、他職種・他機関と連携する上でのポイントや基礎知識を修得します。	医療・福祉の仕事をしている方	90分
74	医療・福祉現場で求められる連携の必要性～実践編～	医療・福祉業務において、他職種・他機関と連携する上での必要な要素を、ロールプレイや事例を用いて学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	2時間
75	利用者支援に必要な福祉制度の基礎知識	利用者や家族を支援する上で知っておきたい社会保険や社会保障の基礎知識について学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	3時間
76	発達障害の理解と支援の方法	発達障害の特性と、特性に応じた支援の方法について学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	3時間
77	医療・福祉現場における従業員のメンタルヘルス	「他のスタッフとの理念の違い」「成果が目に見えない」等、メンタルに支障をきたしがちな医療福祉職。そこで働く従業員のメンタルヘルスはいかにすべきかを学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	3時間
78	医療・福祉現場における家族へのメンタルケア	利用者の支援をする上で生じる、家族対応。その家族のメンタルをどのようにフォローすればよいか、事例も通して学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	2時間
79	医療・福祉現場における事故防止のリスクマネジメント	医療、福祉現場における事故はどのような時に起こるのか。また、事故を未然に防ぐにはどういった事が必要なか、学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	2時間
80	医療・現場における個人情報の管理	医療、福祉現場における個人情報の流出はどのような時におこるのか。また、未然に防ぐためにはどのような取り組みが必要かを学びます。	医療・福祉の仕事をしている方	90分
81	介護と介助の違い～権利擁護の観点から～	介護と介助の違いという身近な観点から医療福祉現場で実践する権利擁護について学んでいきます。	医療・福祉の仕事をしている方	90分
82	社会福祉士・介護福祉士国家試験合格のための勉強方法	国家試験で点数をとるための考え方や勉強方法、試験前日から試験当日の過ごし方を学びます。	社会福祉士・介護福祉士国家試験を受ける職員の方	90分
83	社会福祉援助と個人情報保護	社協、地域包括、施設、民生委員、住民福祉活動等に係る個人情報保護の考え方と取り扱い	・社協、施設、包括職員、民生委員、地域住民等	90分
84	福祉施設が取り組む地域貢献・地域福祉活動	福祉施設が地域に対して果たすべき役割やボランティア受入の意義・あり方について学ぶ	・福祉施設関係者	90分
85	コミュニケーション・接遇の基本	コミュニケーションとは何かから始まり、対人態度、接遇・面接の基本技術・留意などを簡単な演習を交えながら講義	・社協、施設、地域包括職員、ケアマネジャー	90分